

植物抽出成分配合 カルシウム補給剤 徳島県第289号

カルプラス®



●包 装 1ℓ (1.3kg) × 12本／ケース

日本は雨の多い気象条件にあり一般に酸性土壌が多く、土壌のpH矯正のため習慣的に大量のカルシウムを土壌に施用していますが、作物に発生する各種生理障害のなかで、最も多く発生するのがカルシウム欠乏に由来する症状といわれています。カルシウム欠乏症の発生は様々な要因が複雑にからみあって起こることが多く、従来のカルシウム剤では葉面に散布しても吸収・移行がスムーズに行われていませんでした。「カルプラス」は作物への吸収・移行に優れ、生育中の作物に容易に補給できる剤として開発された有機キレートカルシウム剤です。

【成 分】 カルシウム8% (CaOとして11%)、窒素、糖類、有機酸

【特 長】

1. 作物への直接補給
栽培中に、カルシウムを直接作物体へ補給することができます。
2. 植物抽出成分配合
植物抽出成分（糖類・有機酸）との相乗効果により、カルシウムが効率良く吸収・利用されます。
3. 生理障害の防止
カルシウム欠乏に由来する種々の生理障害の防止に役立ちます。
4. 品質・日持ち向上
細胞が強化され、品質・日持ちの良い作物が収穫できます。
5. 作物に汚れなし
作物の葉面などに白い汚れを残しません。
6. 液剤タイプ
使いやすい液剤タイプです。

【作物毎の使用手法】

作物	希釈倍数(倍)	使用時期	目的と効果
果 菜 類	400～500	育苗期～生育期	生理障害の予防 (尻腐れ果・発酵果・肩こけ果・変形果など)
葉菜類・根菜類		定植期～生育期	生理障害の予防 (心腐れ・縁腐れ・葉先枯れ・チップバーン・心枯れなど)
豆 類		生育期	生理障害の予防(しみ症)、生育促進、収量増加
い も 類		生育期	生理障害の予防 (さといもの芽つぶれ・ばれいしょのカルシウム欠乏)
りんごを除く 果 樹 類		落花期以後	生理障害の予防 (なしのみつ症など)
花 卉 類		生育期	生理障害の予防 (葉先枯れ・葉焼けなど)

【使用ポイント】

1. 早めの散布
野菜類でのカルシウム欠乏は細胞膜の形成が悪く細胞壊死が生じ、症状が出てからは手遅れです。
2. 直接散布
カルシウム欠乏症の出やすい部位が吸収移動しやすい部位へ展着剤加用し、ていねいに散布してください。(結球部、花房、果実、新葉、生長点、葉先など)
3. 適時な散布や灌注
カルシウム欠乏が生じやすい部位に、適時な散布や灌注を行ってください。

【使用上・保管上の注意】

1. アルカリ性資材とは混用しないでください。
2. 肥料以外の用途には使用しないでください。
3. 幼児等の手の届かない場所に保管してください。
4. 容器の口を密封し冷暗所で保管してください。
5. 使用後は洗眼やうがいをし、皮ふに付着した場合は洗い流してください。
6. 眼に入った場合は、直ちに多量の水で洗い、できるだけ早く医師の診断を受けてください。
7. 誤って飲み込んだ場合は、できるだけ早く医師の診断を受けてください。
8. 静置すると有機成分由来の沈殿が発生することがありますので、よく振って内容物を均一にしてからご使用ください。
9. 他の肥料との混用は、沈殿や結晶が発生しない場合でのみご使用ください。
10. 希釈液は腐敗しやすいため、その日のうちに使い切ってください。
11. りんごへの使用はさけてください。
12. 夏期・高温時には、日中の散布はさけてください。
13. りん酸及び硫酸塩の入った肥料との混用は混和性を確認のうえ使用してください。
14. 空容器は圃場などに放置せず、適切に処理してください。